

あいち A I ・ロボティクス連携共同研究会 A I を活用した総合案内サービス 提案評価項目

	提案項目	提案評価項目	具体的な評価内容	配点
1	提案サービスの特 徴	・提案サービスの基本的な特徴・考え方が、研究会が目指す A I を活用した総合案内サービスの共同利用に有効であること。 ・幅広い業務範囲で標準 Q A データが整備されていること。 ・県業務及び市町村を跨ぐ広域的な Q A データを追加・管理できること。	●標準 Q A データの保有項目数 ●市町村で共有する Q A データを管理できる仕組み ●対象業務の範囲 ●県業務及び市町村を跨ぐ広域的な Q A データの拡張方法 ●データメンテナンスの対応力	20
2	提案サービスの導 入実績	・提案サービスが、地方自治体向けの A I 総合案内サービスの導入実績を有すること。 ・サービスが提供できる運用体制を有すること。	●A I 総合案内サービスの導入実績数 ●運用体制	10
3	ハードウェア環境	原則 24 時間 365 日の稼働が可能であり、高い可用性及び適切なセキュリティ対策を担保するハードウェア環境上で構築されたサービスであること。	●ハードウェア可用性 ●セキュリティ対策	5
4	利用環境、ユーザ インタフェース	パソコン・タブレット端末・スマートフォンのいずれにおいても、普及しているブラウザにて利用可能であること。	●対応ブラウザ	5
5	サービス機能	・サービス利用当初から、学習済みの A I を利用し、一定の回答精度が得られるとともに、継続的に回答精度を向上する仕組みを有していること。 ・文字入力もしくは選択により問い合わせができ、その問い合わせ内容に対して、自動的に回答すること。	●回答精度 ●機能拡張予定 ●住民窓口サービスに係る業務ノウハウ	15
6	スケジュール	参加団体の希望に応じたスケジュールでの対応が可能であること。	●稼働スケジュールの柔軟性 ●短期間での稼働可能性	10
7	サービス利用準備 の流れ・役割分担	Q A データ作成・確認作業について、参加団体の作業負担が抑えられていること。	●Q A データ作成方法 ●参加団体の作業負担 ●運用テストの実施体制	20

	提案項目	提案評価項目	具体的な評価内容	配点
8	サービス保守・管理の流れ・役割分担	・参加団体におけるQ Aデータ更新が容易であること。 ・回答精度向上のためのチューニング作業（Q Aデータの追加を含む）について、参加団体の全てのログデータを活用して、事業者にて実施すること。	●チューニング実施方法・頻度 ●参加団体の作業負担 ●S L Aの締結と改善方法について	20
9	参加団体のフォロー	参加団体におけるプレス発表や、広報紙への掲載、各団体ホームページへのバナー設置などに対して、これまでの対応実績を活かした支援が可能であること。	●住民への周知・広報のノウハウ ●現地対応可能なフォロー体制	10
10	提案価格	提案上限金額以下であり、(最低提案価格／該当提案価格×価格点(10 点))を点数とする。	●左記のとおり	10
11	提案価格の内訳	初期導入費及び利用に係る基本料金の価格の内訳を提示すること。	●上記 1 ～ 9 の提案項目の内容からみて、初期導入費及び利用に係る基本料金の額が妥当か	10
12	オプションサービス	各オプションサービスの料金及び具体的な内容を提示すること。	●オプションサービスの対応状況及び料金の妥当性	10
13	追加提案	・その他、A I 総合案内サービスもしくは研究会及びA I を活用した総合案内サービス共同利用推進部会への有益な追加提案があること。 なお、追加料金が発生する場合は、その料金内訳及び具体的な内容を提示すること。 ・仮に令和 3 年度も契約した場合、参加団体数に次のような変動があった場合の利用に係る基本料金の価格を提示すること。 1 参加団体数が令和 2 年度に比較して、人口 10 万人程度の市が 5 増加したとき 2 参加団体数が令和 2 年度に比較して、人口 10 万人程度の市が 5 減少したとき	●追加提案の有益性 ●蓄積されたQ Aデータ、ログデータの活用案 ●他サービス等との連携による新たなサービスへの発展	10

	提案項目	提案評価項目	具体的な評価内容	配点
14	その他	下記事項について、対応可能かどうか明記すること。 ①翻訳エンジン（翻訳の性能について） ②Q Aデータの保存方法について ③閉鎖環境でのテストの有無について ④利用者の声を収集できる仕組みについて ⑤読み上げ機能について	●対応可能なサービス機能を有しているか	5
			合計	160